10 － 1　九州地方とその周辺の地震活動（2006 年 11 月～ 2007 年 4 月）
Seismic Activity in and around Kyushu District (November 2006 - April 2007)

気象庁 福岡管区気象台
Fukuoka District Meteorological Observatory，JMA

今期間，九州地方とその周辺で M4.0 以上の地震は 42 回，M5.0 以上は 5 回，M6.0 以上は 1 回発生した．このうち最大は，2006 年 11 月 18 日に奄美大島近海で発生したM 6.0 の地震であった．

2006 年 11 月～ 2007 年 4 月の M4.0 以上の震央分布を第 1 図 (a) 及び (b) に示す．

主な地震活動は以下のとおりである．

(1) 奄美大島近海の地震（M6.0，最大震度４，第 2 図）

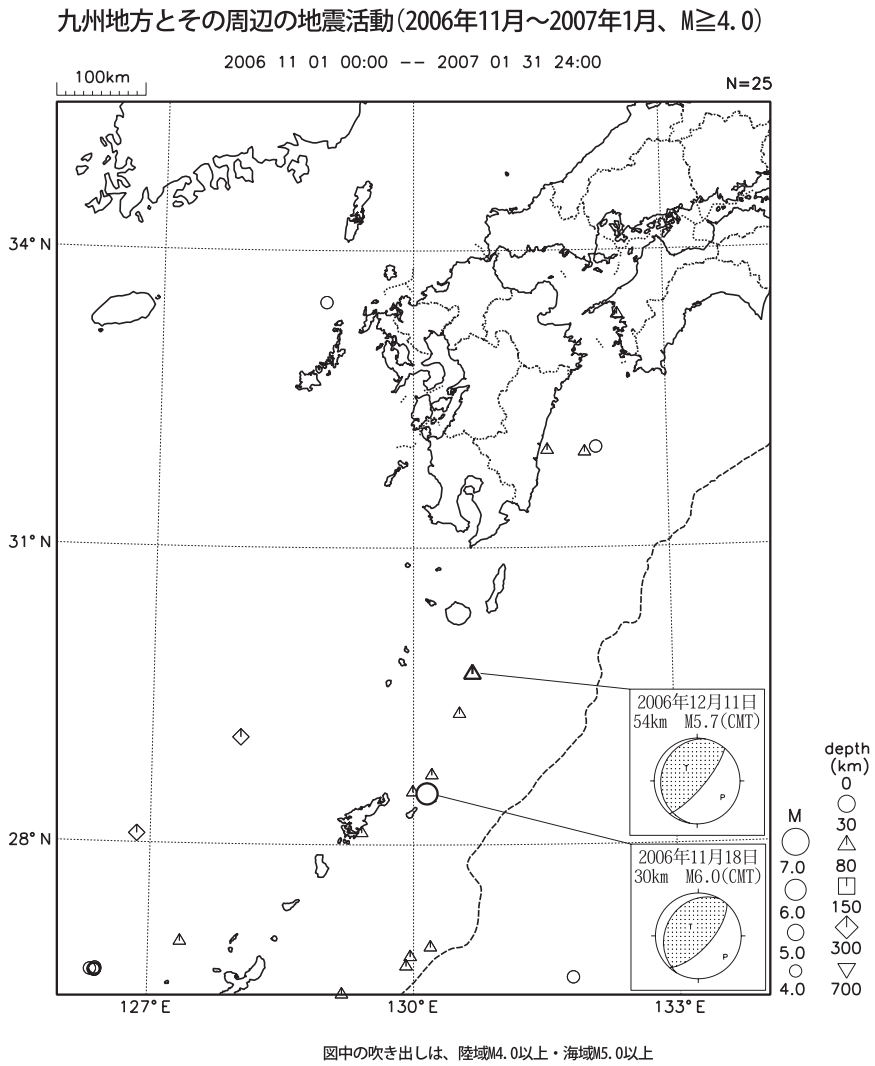
2006 年 11 月 18 日 03 時 03 分に，奄美大島近海で M6.0（最大震度４）の地震が発生した．発震機構（CMT 解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった．余震活動は地震発生から数日間やや活発であったが，11 月末には低調になった．1923 年 8 月以降の活動を見ると，この付近では M6.0 以上の地震が時々発生している．なお，今回の震源域の南方では 1995 年 10 月 18 日にM 6.9，翌 19 日に M6.7 の地震（ともに津波あり）が発生している．

(2) 奄美大島北東沖の地震（M5.7，最大震度３，第 3 図）

2006 年 12 月 11 日に，奄美大島北東沖（屋久島の南方約 50km）で M5.7（最大震度３）の地震が発生した．発震機構（CMT 解）は，西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった．この地震の余震活動は数日で収まった．1923 年 8 月以降の地震活動を見ると，今回の地震より南側の領域で M6.0 以上の地震が時々発生している．

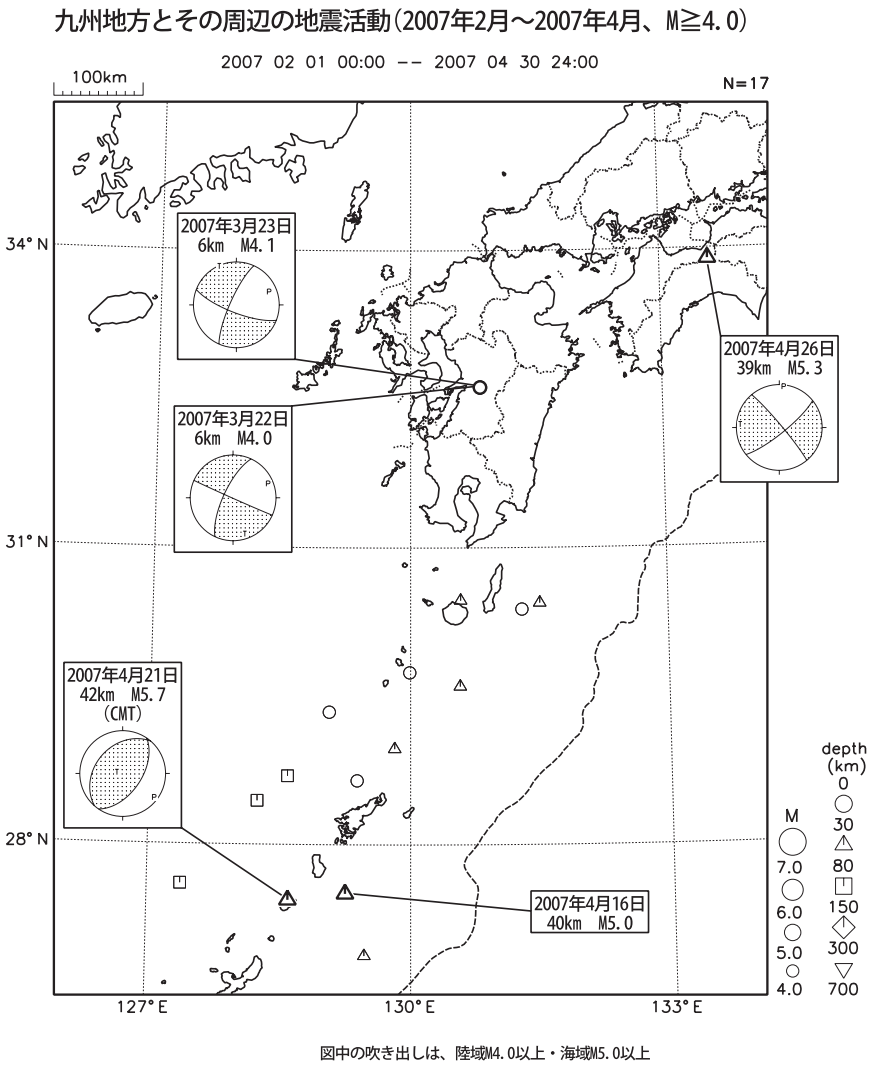
(3) 熊本県熊本地方の地震（M4.1，最大震度４，第 4 図）

2007 年 3 月 22 日と翌 23 日に熊本県熊本地方の深さ 6km で M4.0（最大震度３）と M4.1（最大震度４）の地震が発生した．発震機構は，ともに北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で，この付近の地震でよく見られる型であった．これらの地震を含め，3 日間程度，小規模ながらやや活発な地震活動があった．なお，布田川・日奈久断層帯に沿った領域 (B) と北側に隣接する領域 (A) の 1923 年 8 月以降の地震活動を見ると，1997 年ころから非常に対照的に推移しており，領域 A では静穏であるが領域 B では活発であることがわかる．



第 1 図 (a)　九州地方とその周辺の地震活動（2006 年 11 月～ 2007 年 1 月，M ≧ 4.0，深さ≦ 700km）

Fig.1(a)　Seismic activity in and around Kyushu district (November 2006 - January 2007, M ≧ 4.0, depth ≦ 700km).

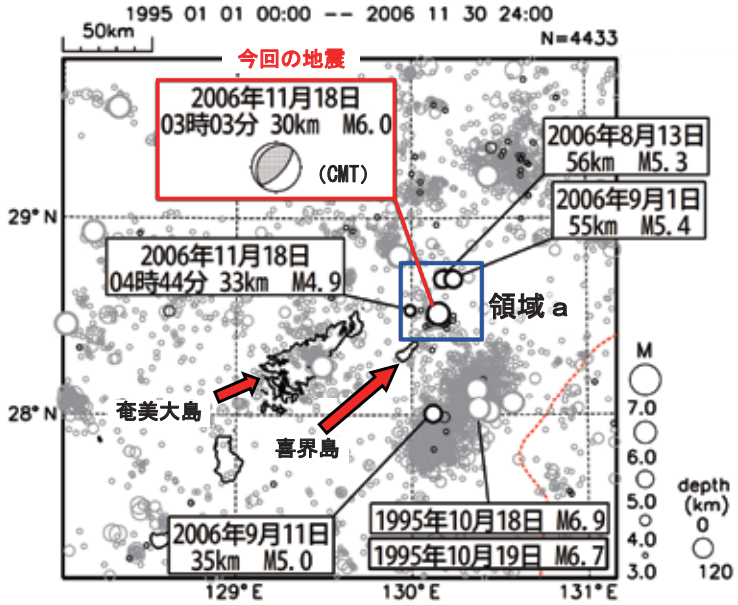


第 1 図 (b)　つづき（2007 年 2 月～ 4 月，M ≧ 4.0，深さ≦ 700km）

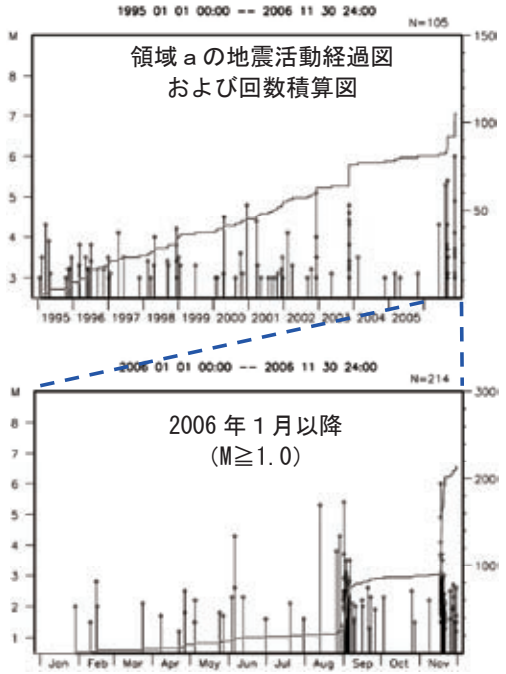
Fig.1(b)　Continued (February -April 2007, M ≧ 4.0, depth ≦ 700km).

11 月 18 日　奄美大島近海の地震

A 震央分布図（1995 年 1 月以降，M≧3.0）

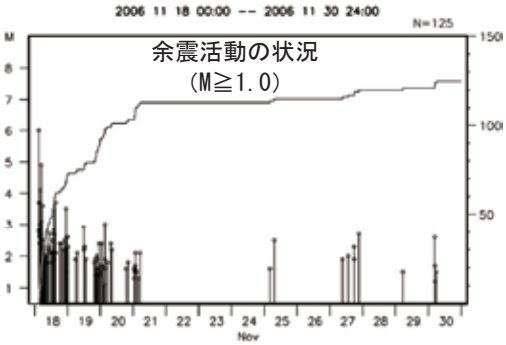


2006 年８月１日以降を濃くプロットしている．また，M6.0 以上の地震を白抜きして示している

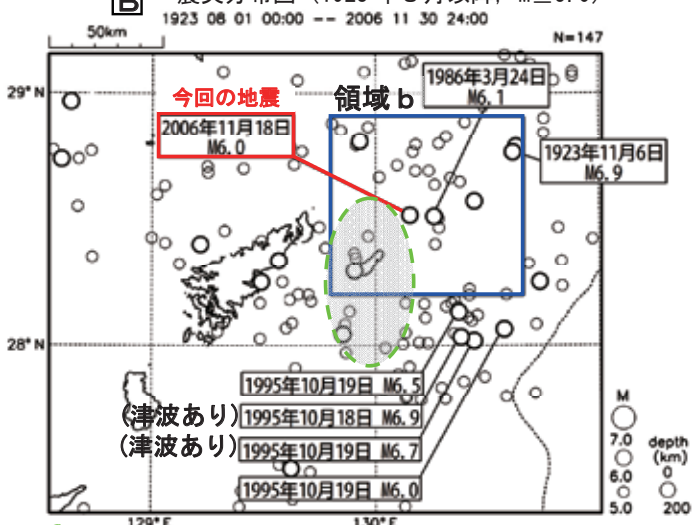


2006 年 11 月 18 日 03 時 03 分に奄美大島近海（喜界島の北東沖）で M6.0（最大震度４）の地震が発生した．発震機構（CMT）は北西―南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった．余震活動は地震発生から数日間やや活発であったが，11 月末には低調になった．今回の地震の震央周辺では８月から 10 月にかけて地震活動が時々活発化しており，すぐ北側では８月 13 日に M5.3（最大震度３），９月１日に M5.4（最大震度３）の地震が発生している．

また，今回の震源域の南方のクラスターでは 1995 年 10 月 18 日にM6.9，翌 19 日に M6.7 の地震（ともに津波あり）が発生している．（A）

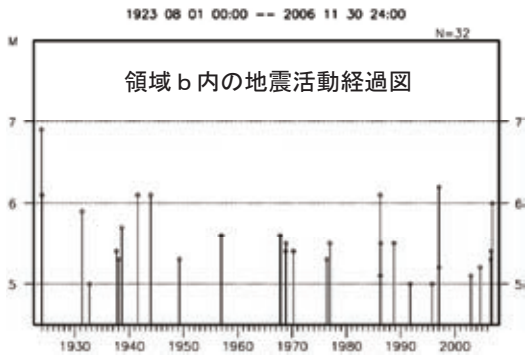


B 震央分布図（1923 年８月以降，M≧5.0）



1911 年の地震の震央域を示す（歴史記録等による推定位置である）．

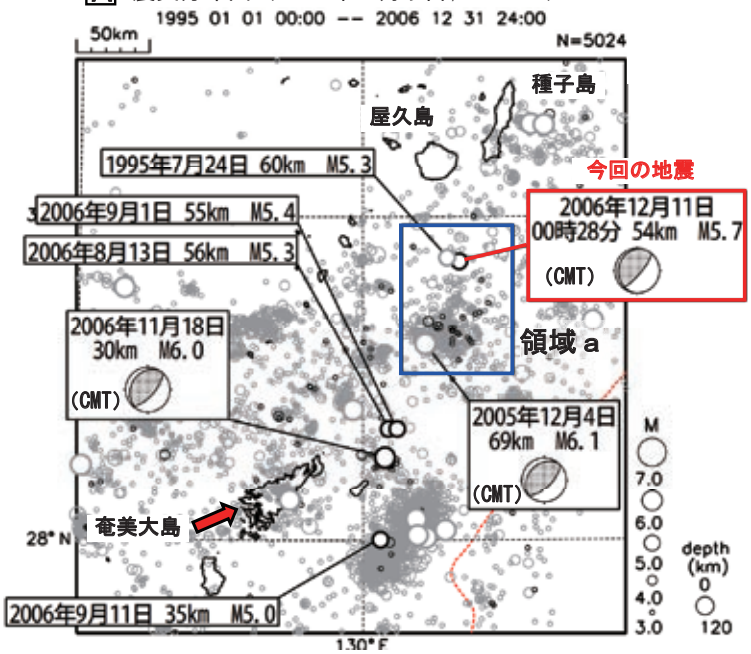
1923 年以降の地震の活動状況をみると，今回の地震の震央付近では，M6.0 を超える地震が時々発生している．また，1923 年以前にさかのぼると 1911 年６月 15 日に九州・沖縄地方で最大規模となる M8.0 の地震が発生している．（B）



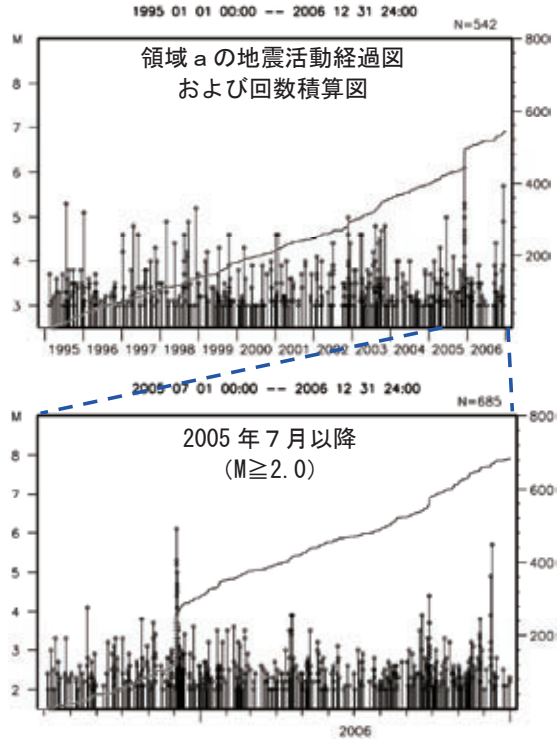
第 2 図　11 月 18 日奄美大島近海の地震
Fig.2　The earthquake in and around Amami-oshima island on Nov. 18.

12 月 11 日　奄美大島北東沖の地震

A　震央分布図（1995 年 1 月以降，M≧3.0）



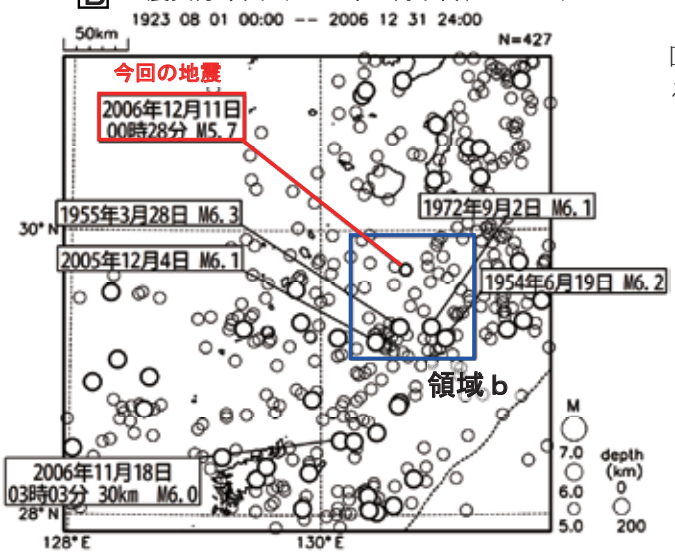
2006 年８月１日以降を濃くプロットしている．また，M6.0 以上の地震を白抜きして示している



2006 年 12 月 11 日 00 時 28 分に奄美大島北東沖（屋久島の南方約 50km）で M5.7（最大震度３）の地震が発生した．発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった．この地震の余震活動は数日で収まった．今回の地震の南側のクラスターでは，2005 年 12 月 4 日に M6.1 の地震が発生し，地震活動が一時的に活発化した．このクラスターの地震活動は 2006 年前半には通常レベルに戻ったように見られたが，８月頃から活発化が見られる．

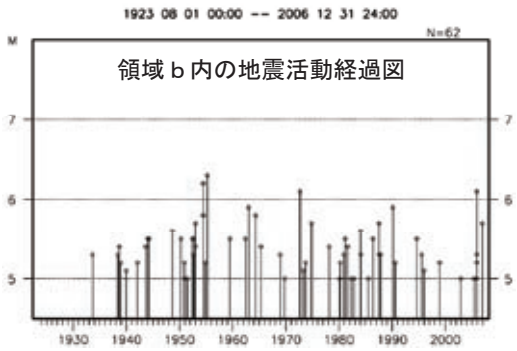
奄美大島近海では 2006 年８月から 12 月にかけて地震活動が活発化した場所が見られた．最大の地震は 11 月 18 日の M6.0 の地震（最大震度４）で，数日間の活発な余震活動を伴った．その他，８月 13 日の M5.3（最大震度３），９月１日の M5.4（最大震度３）の地震のように，近い場所で M５クラスの地震が連続して発生する活動などが見られた．（A）

B　震央分布図（1923 年８月以降，M≧5.0）



M6.0 以上の地震を白抜きして示している

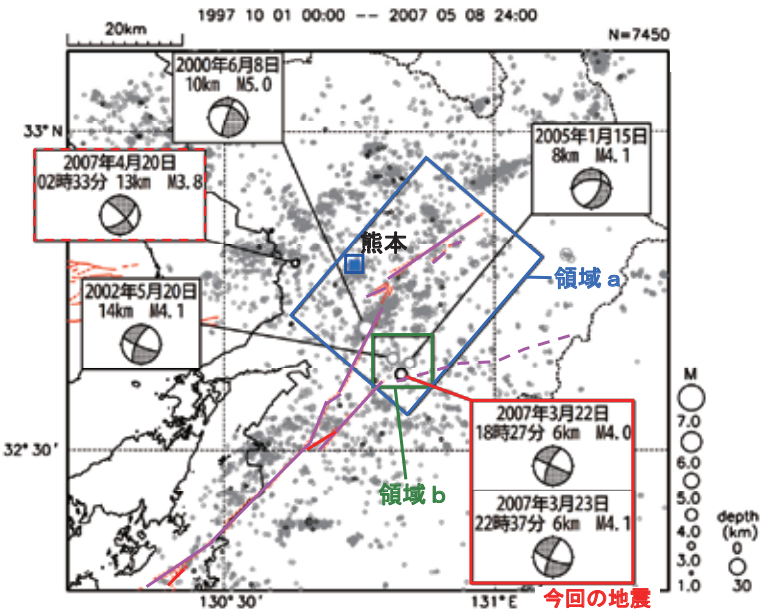
1923 年８月以降の地震の活動状況をみると，今回の地震の震央より南側の領域では M6.0 を超える地震が時々発生している．（B）



第 3 図　12 月 11 日奄美大島北島沖の地震
Fig.3　The earthquake northeast off Amami-oshima island on Dec. 11.

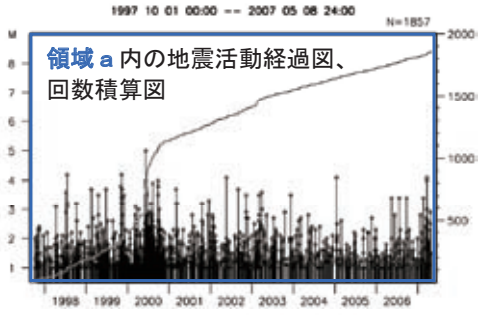
3 月 22 日、23 日　熊本県熊本地方の地震

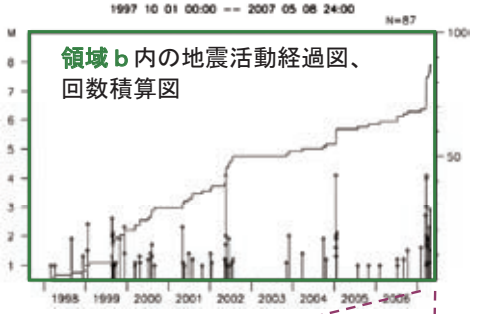
震央分布図（1997 年 10 月以降，M≧1.0）

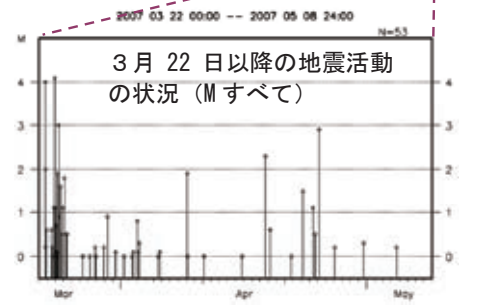


破線：緑川断層

実線：布田川・日奈久断層帯のトレース

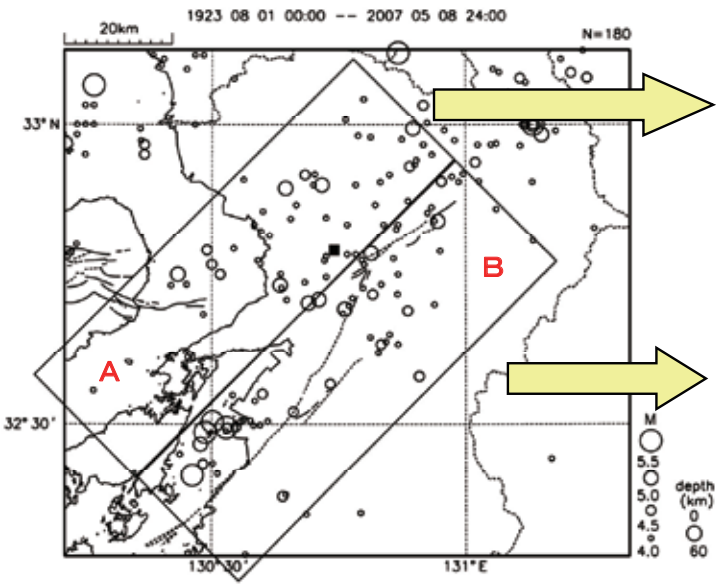


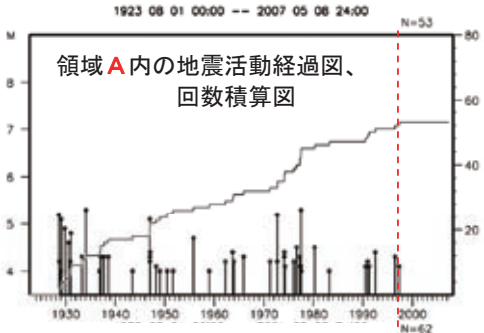


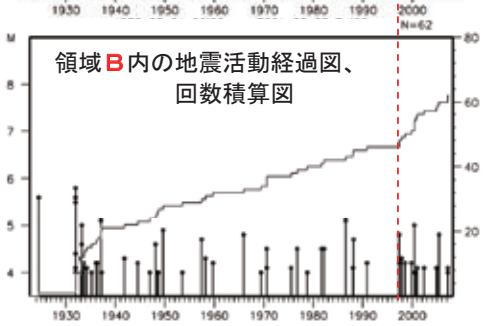


2007 年３月 22 日 18 時 27 分と３月 23 日 22 時 37 分に熊本県熊本地方の深さ６km で M4.0（最大震度３）と M4.1(最大震度４)の地震が発生した．発震機構はともに北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で，この付近の地震によく見られるタイプであった．これらの地震を含め，３日間程度，小規模ながらやや活発な地震活動があった．

震央分布図（1923 年８月以降，M≧4.0）







1923 年８月以降の布田川・日奈久断層帯に沿った領域（B）と北側に隣接する領域（A）の活動をみると，1997 年頃から非常に対照的に推移している．

第４図　3月22日，23日熊本県熊本地方の地震
Fig.4　The earthquake in Kumamoto region, Kumamoto prefecture on Mar. 22 and 23.